

感染症対策に関するよくあるご質問（R4.6.16現在）

#### 大声での声援等があり・なしの判断について

Q. 大声での声援等があり・なしのイベントは、どのような基準で判断すれば良いでしょうか。

A. 観客が「(1) 通常より大きな声量で、(2) 反復・継続的に声を発すること。」を大声とし、これを積極的に推奨する、または必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」とします。

Q. 舞台上において歌唱等の大声がある場合や大勢でのバレエ発表会（マスクなし）などのイベントは、大声での声援等がありのイベントに該当しますか。

A. 客席での大声がない場合は、大声での声援等がありのイベントには該当しません。ただし、舞台上から飛沫が想定されるイベントについては、客席前列2列を使用不可とする等感染症対策を講じてください。

#### 参加人数について

Q. イベント参加人数の上限の考え方について詳しく教えてください。

A. 出演者等公演関係者を含めてイベント参加人数の上限を設けています。具体例につきましては、次に例示します。

例1) 大声ありのイベントで楽屋1・リハーサル室利用の場合

297人（座席定員）+4人（楽屋1定員）+9人（リハーサル室定員）

=310人（参加人数の上限）

例2) 大声なしのイベントで楽屋1・楽屋2・リハーサル室利用の場合

594人（座席定員）+4人（楽屋1定員）+4人（楽屋2定員）+9人（リハーサル室定員）

=611人（参加人数の上限）

Q. 舞台上には、何人まで上がれるなど制限を設けていますか。

A. 舞台上の人数の制限は設けていませんが、推奨人数としては、

- ・合唱：16人
  - ・吹奏楽：35人
- （いずれも、舞台上で前後2mの間隔をあけての配置を基に算出）

としています。

舞台上の人数の制限及びマスクの有無等については、主催者様が各種業界のガイドラインが示す感染対策を基に対策を講じていただくことを前提として、最終的には、主催者様の判断によるものとなります。

#### 消毒について

Q. 利用条件に「使用した施設・備品等の消毒を行うこと」とあるが具体的にはどこの箇所を消毒すればいいでしょうか。

A. 客席手すり、机等使用した備品、楽屋・リハーサル室等の使用した部屋が消毒対象となり、消毒用品

は会館側から支給します。

支給する消毒セットについては、家具用合成洗剤（スプレータイプ）× 4 本及びふき取り用雑巾 4 枚となります。

なお、詳しい消毒箇所や消毒方法については、事前打ち合わせ時に主催者様に対して、示させていただきます。

Q. 施設の消毒に要する時間は利用時間に含まれますか。

A. 消毒作業も含めて利用時間内に終えていただくこととなりますので、余裕を持ったタイムスケジュールの設定と利用予約をお願いいたします。

Q. 主催スタッフが少ないので、イベント参加者に消毒を手伝ってもらいたいが、会館側で用意する消毒セット以外でウェットティッシュを主催者側で用意してイベント参加者に客席の消毒を手伝ってもらっても良いですか。

A. イベント参加者の方に消毒をしていただいても構いません。ただし、会館側では、家具用合成洗剤（スプレータイプ）以外の用意がありません。ウェットティッシュを使用する場合は、主催者様側でのご用意となりますので、ご了承ください。また、施設保全の観点から、主催者様で施設消毒用品をご用意いただく場合は消毒用のウェットティッシュに限らせていただきます。

Q. ピアノの発表会などで演奏者が入れ替わる場合、ピアノの消毒をしても良いでしょうか。

A. ピアノについては、消毒をすると劣化する可能性がありますので、ピアノ自体の消毒はご遠慮いただいております。感染症対策については、演奏者の方の演奏前後の手洗いや手指消毒にてご対応ください。

#### **換気について**

Q. 母子室の換気はどのようにすれば良いでしょうか。

A. 母子室は 1 部屋につき 1 家族の利用に制限しているため、使用中の扉の開放については、使用者の判断によるものとします。ただし、使用する家族が入替となる場合は、扉の開放による換気や消毒を行ってください。